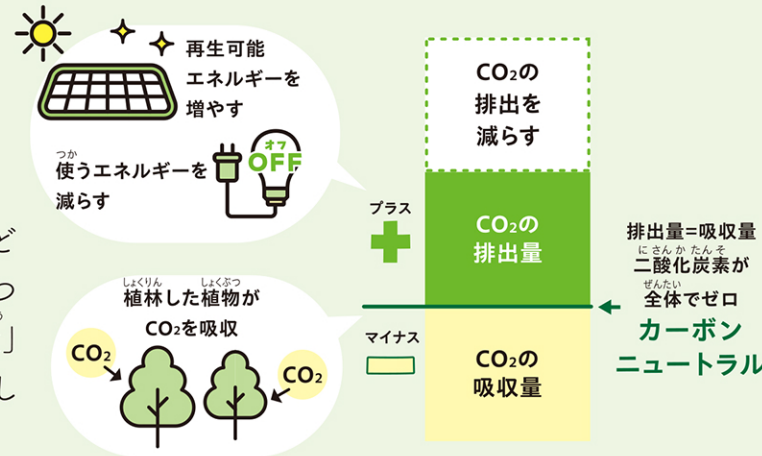


宮城県の再生可能エネルギーに関する取り組み

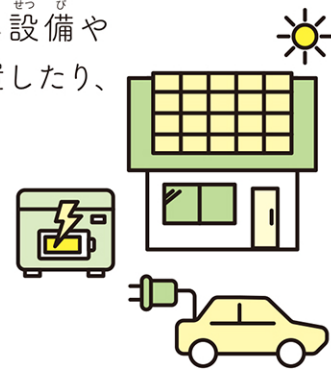
宮城県は、2050年カーボンニュートラルを目指します

カーボンニュートラルとは、再エネなどを活用してCO₂の「排出量」を減らしつつ、木を植えるなどしてCO₂の「吸収量」を増やすことで、「排出」と「吸収」の差引きが0(ゼロ)になることをいいます。



住宅における再エネ・省エネの推進

住宅に再エネ設備や蓄電池等を設置したり、断熱リフォーム等を行う場合にその費用の一部補助しています。



太陽光発電によるCO₂排出量の削減価値を集め、環境教育等に活用

住宅での太陽光発電による排出削減量を「環境価値」として集めて売却し、その収益を環境教育等に活用しています。



地域と共生した再生可能エネルギーの推進



再エネを活用して、人口減少や高齢化などの地域課題を解決する取り組みを支援するほか、事業者の育成やセミナー等を行い、県内でのよりよい発電事業の実施を推進しています。

お問い合わせはこちら

宮城県環境生活部再生可能エネルギー室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL:022-211-2655 FAX:022-211-2669

※このパンフレットは、みやぎ環境税活用事業(みやぎスマエネ倶楽部クレジット売却益活用事業)として作成しています。

なぜ?

なに?

はっけん!

再生可能エネルギー

わたしたちが生活している宮城県では「再生可能エネルギー」を活用する取り組みが進められています。それって何? どうして使うの? 何がかわるの? 地域の資源を生かす「再生可能エネルギー」について一緒に考えてみましょう!



©宮城県・旭プロダクション

宮城県